

## カリウム吸着薬が保存期 CKD 患者の RAS 阻害薬中止後再開にもたらす推定効果 -Target trial emulation

### 1. 研究の対象

2014 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに J-CKD-DB-Ex（当院および J-CKD-DB-Ex 参加施設）に登録された 20 歳以上の患者さんを対象とします。

### 2. 研究目的・方法

**[研究目的]** CKD 診療におけるレニン・アンジオテンシン系 (RAS) 阻害薬の重要性は確立していますが、高カリウム血症のためしばしば中止されるだけでなく、その後の再開率も低いことが課題とされています。カリウム吸着薬の使用は RAS 阻害薬の中止後の再開率を高めるために有効である可能性があります。本研究の目的は RAS 阻害薬中止症例におけるカリウム吸着薬の処方と RAS 阻害薬再開の関連を検証することです。

**[方法]** J-CKD-DB-Ex に登録された情報をもとに、推算糸球体濾過量 20-60 mL/分/1.73m<sup>2</sup> かつ高カリウム血症があり、RAS 阻害薬を中止された症例を対象として、カリウム吸着薬の処方と RAS 阻害薬再開の関連を統計学的に解析します。

**[研究期間]** 研究機関の長の実施許可日～2026 年 12 月 31 日

**[利用又は提供を開始する予定日]** 2024 年 7 月

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

J-CKD-DB-Ex に登録された以下の情報を利用します。

**[基本情報]** 生年月、性別、等

**[病名]** 糖尿病； E10, E11、心筋梗塞； I21・I22・I24、心不全； I50、心房細動； I48、大動脈解離； I71.0、脳梗塞； I63、脳出血； I61、くも膜下出血； I60、等

**[血液検査]** クレアチニン、アルブミン、尿酸、尿素窒素、ナトリウム、カリウム、クロール、HbA1c、カルシウム、リン、intact PTH、CRP、Hb、血糖、重炭酸イオン濃度、等

**[尿検査]** 尿蛋白/クレアチニン比、等

**[処方]** 各種処方薬、処方期間、一日投与量、等

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究組織以外への試料・情報の提供はありません。

### 5. 研究組織（利用する者の範囲）

大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 坂口悠介

大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 猪阪善隆

大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 服部洸輝

大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 岡樹史

大阪大学大学院医学系研究科	腎臓内科学	土井洋平
大阪大学大学院医学系研究科	腎臓内科学	朝比奈悠太
大阪大学大学院医学系研究科	腎臓内科学	河岡孝征
大阪大学大学院医学系研究科	腎臓内科学	川野祐暉
大阪大学大学院医学系研究科	腎臓内科学	松井功
大阪大学大学院医学系研究科	腎臓内科学	水井理之
大阪大学大学院医学系研究科	腎臓内科学	貝森淳哉
川崎医科大学	腎臓・高血圧内科学	長洲一

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、本研究で用いる情報について、提供元の川崎医科大学においても研究代表機関においても個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際に対応いたしかねますことをご了承ください。

研究内容に関する照会先：

研究責任者

大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科 坂口悠介

565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

TEL 06-6879-3857

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科 坂口悠介